

# Cisco Wireless Control System Tomcat mod\_jk.so 脆弱性

High

アドバイザリーID : cisco-sa-  
20080130-wcs

[CVE-  
2007-  
0774](#)

初公開日 : 2008-01-30 16:00

バージョン 1.1 : Final

CVSSスコア : [7.5](#)

回避策 : [Yes](#)

Cisco バグ ID :

**日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。**

## 概要

Apache Tomcat は Cisco Wireless Control System ( WCS ) 内の JavaServlet および JavaServer ページ Web のための Servlet コンテナです。場合不正利用されたりリモート コード 実行 攻撃という結果に終るかもしれない Apache Tomcat 内の mod\_jk.so URI ハンドラで存在 する脆弱性。

このアドバイザリーは <http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20080130-wcs> で掲示されます。

## 該当製品

### 修正済みソフトウェア

4.0.100.0 前の Cisco WCS 実行するデバイス ソフトウェア 3.x および 4.0.x はこの脆弱性から影響を受けます。バージョン 4.2.62.0 に前にソフトウェア 4.1.x および 4.2.x を実行する Cisco WCS デバイスはまた脆弱です。

注: 特定のデバイスにインストールされている WCS ソフトウェアのバージョンは、WCS HTTP 管理インターフェイスで調べることができます。ソフトウェアのバージョンを調べるには、Help -> About the Software の順に選択します。

### 脆弱性を含んでいないことが確認された製品

他のシスコ製品において、このアドバイザリーの影響を受けるものは現在確認されていません。

## 改訂履歴

リビジョン 1.1	2008-April-25	<a href="#">CSCsk18191</a> への更新済 CVSS リンク。
リビジョン 1.0	2008-January-30	初回公開リリース

## 利用規約

本アドバイザーは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザーの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザーの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。